

美術は語る 木村泰司の西洋美術史

講師 美術史家 木村 泰司

美術鑑賞をより楽しむために、まずは個人の主観を省き、自分の好き・嫌いで鑑賞することを止めてみましょう。何が美しいのかを学ぶことができるのが美術史であり、そしてそれが美術史の楽しさでもあります。それぞれの時代のエッセンスを吸収し、造形化したものが美術です。美術史を通じて美の規範を学び、それぞれの時代背景を知ることによって、建築、絵画、そして彫刻は、様々なことを私たちに語り掛けてくれるようになるのです。(講師記)



©高木昭仁

<今期テーマ> ※今後のテーマは裏面をご覧ください。

- 4/7 第7回 北方ルネサンスとフロンテヌブロー派 (前編)
- 5/12 第8回 北方ルネサンスとフロンテヌブロー派 (後編)
- 6/2 第9回 イタリア初期ルネサンス美術 (前編)

<講師紹介>木村 泰司(きむら たいじ)

1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等、本物に触れながら学ぶ。知識だけでなくエスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『印象派という革命』(集英社)、『美女たちの西洋美術史 肖像画は語る』(光文社新書)、『名画は嘘をつく1~3』(大和書房)、『世界のビジネスエリートが身につける教養 西洋美術史』(ダイヤモンド社)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

日 時 2018年 4/7、5/12、6/2 全3回

※5月のみ第2週です。ご注意ください。

土曜日 13:00~14:30

受講料 会員 9,720円 (入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

- ※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
- ※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。
- ※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
- ※ 個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>

2017年10月開講。おおよそ2年かけて全10期を予定しています。
お申し込みは1期(3ヶ月)ごとに承ります。途中受講も可能です。

<今後のテーマ>

第4期(2018年7—9月)

- 10. イタリア初期ルネサンス美術(後編)
- 11. イタリア盛期ルネサンス美術
- 12. ヴェネチア派とマニエリスム

第5期(2018年10—12月)

- 13. イタリア・バロック美術(前編)
- 14. イタリア・バロック美術(後編)
- 15. スペイン・バロック美術

第6期(2019年1—3月)

- 16. フランドル・バロック美術
- 17. 17世紀オランダ絵画の黄金時代(前編)
- 18. 17世紀オランダ絵画の黄金時代(後編)

第7期(2019年4—6月)

- 19. 17世紀フランス古典主義(前編)
- 20. 17世紀フランス古典主義(後編)
- 21. 18世紀フランス・ロココ美術

第8期(2019年7—9月)

- 22. 永遠のヴェルサイユ(前編)
- 23. 永遠のヴェルサイユ(後編)
- 24. 18世紀ヨーロッパ美術の行方(18世紀ヴェネチア派、ゴヤ、新古典主義)

第9期(2019年10—12月)

- 25. 19世紀フランス絵画(新古典主義とロマン主義)
- 26. 19世紀フランス絵画(バルビゾン派と近代絵画)
- 27. 印象派と後期印象派(前編)

第10期(2020年1—3月)

- 28. 印象派と後期印象派(後編)
- 29. 18世紀イギリス美術史(スチュワート朝からジョージ王朝へ)
- 30. 19世紀イギリス美術史(ヴィクトリア朝からエドワード朝へ)

.....
<過去のテーマ>

第1期(2017年10月—12月)

- 1. ギリシャ美術と古典主義
- 2. エトルリア美術とローマ美術
- 3. 初期キリスト教美術とロマネスク美術

第2期(2018年1月—3月)

- 4. ゴシック美術と国際ゴシック様式
- 5. 初期ネーデルラント絵画(前編)
- 6. 初期ネーデルラント絵画(後編)